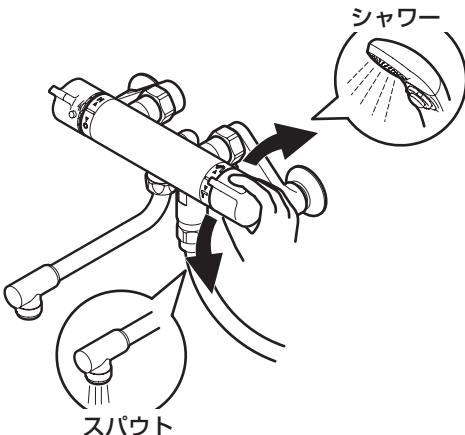


施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、スパウトおよびシャワーから水が出るか確認してください。



切替ハンドルを下いっぱいに回す。
スパウトから水が出ます。

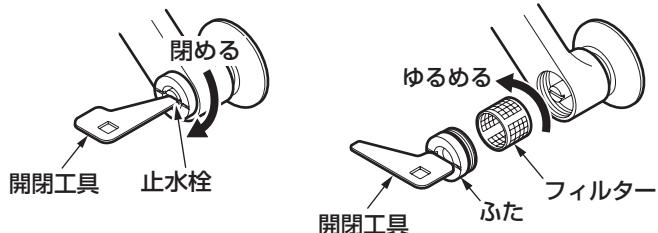
切替ハンドルを上いっぱいに回す。
シャワーから水が出ます。

2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

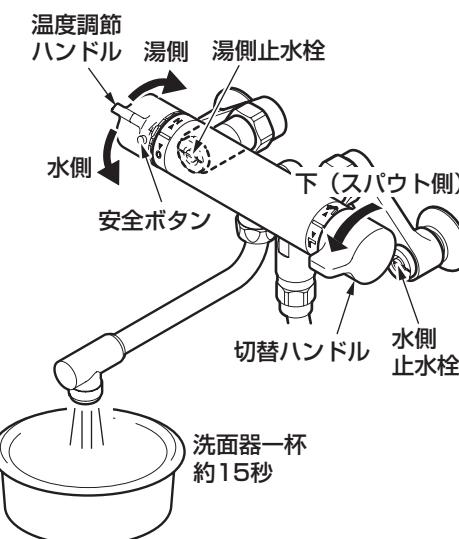
フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、開閉工具でふたを外してください。
また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。
(詳しくは、「日ごろのお手入れ」(P.32)を参照してください)



3. 流量の調節

流量が多すぎる場合は、次の要領で止水栓を調節してください。



1. 温度調節ハンドルを下(水側)いっぱいに回し、切替ハンドルを下いっぱいに回す。
スパウトから水が出ます。

2. 流量が15L/分程度(洗面器一杯にするのに約15秒弱)になるように水側止水栓で調節する。

時計回りに回すと流量が少くなり、反時計回りに回すと多くなります。

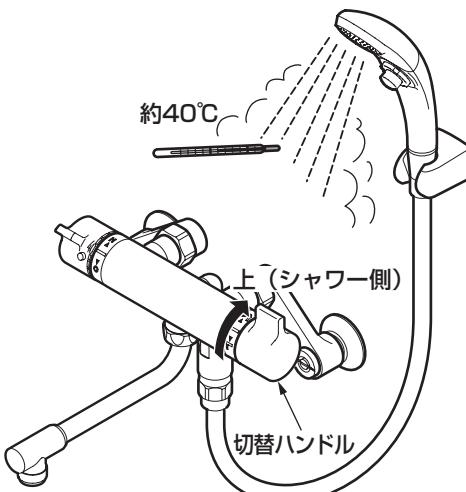
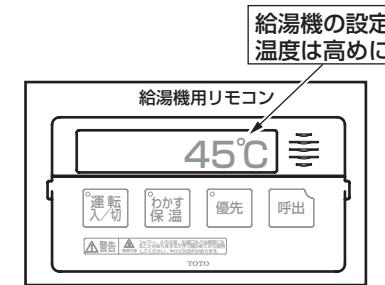


3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

湯側の流量調節をするときは十分に注意してください。

4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。



1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40°Cの湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40°Cより高めに設定してください。快適なシャワー流量・温度を得るためにには、60°Cに設定することをおすすめします。

2. 温度調節ハンドルの目盛り "40"をラインにあわせる。

3. 切替ハンドルを上いっぱいに回す。

シャワーから水が出ます。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40°Cであればそのままご使用ください。温度が低い場合は、40°Cの湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。給湯機を50°C以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。誤作動によるやけど防止のため、給湯機の設定は60°C以下をおすすめします。

5. ハンドル設定が必要な場合

ハンドル設定については、取付店にご相談ください。ご自身で設定される場合は、P.23をご参照ください。

なお、TOTOメンテナンス(株)においても、ハンドル設定を承っております。(有料)

サーモスタット混合栓のしくみ

サーモスタット混合栓は、湯と水を混合して、吐水温度を調整しています。このため、ガス給湯機や電気温水器などの給湯機で設定している温度より、吐水温度が低くなります。

(例) 給湯機の設定を40°C、サーモスタット混合栓の目盛りは40°Cでも、吐水温度は37°Cに下がるなど低下する温度は水圧などご使用の条件によって異なります。

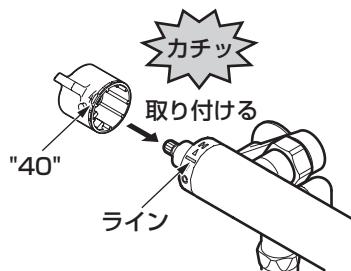
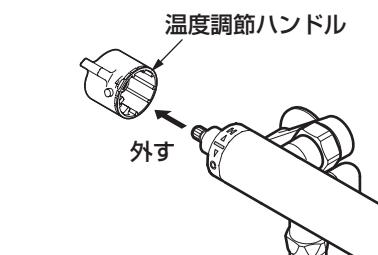
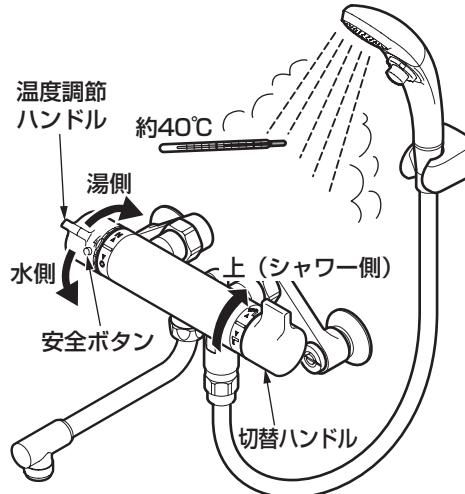


点検項目

5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。



1. 切替ハンドルを上いっぱいに回す。

シャワーから水が出ます。

2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40°C)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。



豆知識

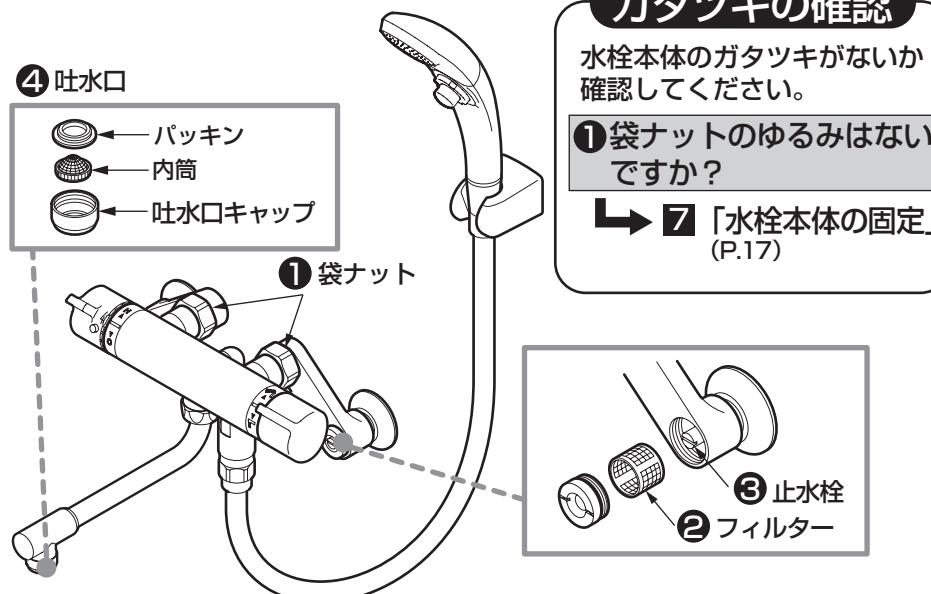
ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を軽くたたいてください。

4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

5. 固定後に適温(約40°C)の湯が出ているか確認する。

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



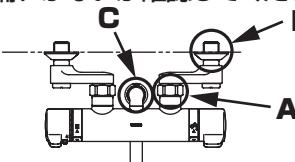
ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

- ①袋ナットのゆるみはないですか?
→ 7 「水栓本体の固定」(P.17)

水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ②フィルターのごみ詰まりはないですか?
→ フィルターのお手入れ (P.32)

③止水栓は開いていますか?

- 止水栓で流量を調節する。
3. 流量の調節 (P.20)

④吐水口のごみ詰まりはないですか?

- 吐水口のお手入れ (P.31)